

様

年 月 日

の漢方薬 日分（1日1袋）

煎じ方 <お鍋で煎じる場合>

- 1回目・・・ 陶器あるいは耐熱ガラスの鍋に漢方薬1袋と約（ ）CCの水を入れる。
そのまま30分から1時間浸け置く。（生薬を水の中に押し漬け込むこと）
中火にかけ、沸騰後、鍋のフタを半分ずらして弱火にし、150CC～200CC
まで煮詰める。
薬汁のみをどんぶり鉢に注ぎ移しておく。
- 2回目・・・ 1回目の漢方薬に再び約（ ）CCの水を加え、中火にかける。
沸騰後、弱火にして1回目と同じように150CC～200CCまで煮詰める。
薬汁のみを のどんぶり鉢に注ぎ加え（薬汁の濃度が均一になる）2回か3回に
分けて服用する。

<自動煎じ器で煎じる場合>

- 1回目・・・ 煎じ器に漢方薬と薬が充分浸かる程度の水を入れる。
そのまま、30分から1時間浸け置く。（生薬を水の中に押しつけ込むこと）
スイッチをオンする。（自動的に薬が煮詰まってスイッチが切れるまで待つ）
薬汁のみを別の容器に移しておく。
- 2回目・・・ 1回目の漢方薬に再び薬が充分浸かる程度の水を入れる。
スイッチをオンして、自動的にスイッチが切れるまで待つ。
薬汁のみを取り出し、一回目の薬汁と混ぜ合わせて2回か3回に分けて
服用する。

注意点

- *アルミや銅製の鍋では煎じないように。*ステンレスは可。
- *上澄み液のみを服用して下さい。（沈殿物は服用する必要ありません）
- *カビ発生防止のため、生薬は冷蔵庫に保管して下さい。
- *最大の治療効果をあげるために、必ず毎日連続服用して下さい。
- *煎じた後、人肌程度に冷ましてから一息に服用して下さい。
- *翌朝服用される場合はレンジで少し温めてから服用して下さい。
- *1回目と2回目は連続して煎じて下さい。

服用回数と服用時間

- （ ）朝食前（服用後20分から30分後朝食を摂って下さい）
- 1日（ ）回 （ ）昼食前 ・ （ ）昼食約2時間後
- （ ）夕食前または就寝前 ・ （ ）夕食約2時間後

備考

- *
- *

美濃漢方診療所 劉文鋒